

福島第一原子力発電所 3号機廃棄物地下貯蔵建屋内 配管からの廃液の漏えいについて（続報）

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 9 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 9月1日午後6時18分、3号機廃棄物地下貯蔵建屋（以下「同建屋」）の地下1階にあるタンクの接続配管から、同建屋内に廃液が漏えいしていることを、当社社員が確認しました。（9月2日お知らせ済み）
- 同建屋内に溜まった廃液について、3号機廃棄物処理建屋への移送を進めておりますが、同建屋内の水位が安定し、同建屋付近のサブドレンとの水位差が十分確保できる状態になったことから、本日（9月3日）午前10時24分、停止していた同建屋付近のサブドレンのくみ上げを開始しました。
- 同建屋内について現場同建屋は外部との連通部が無いこと、および、同建屋内の水位は、廃液の漏えい前後において、同建屋付近のサブドレンの水位よりも十分低いことを確認しており、漏えいした廃液は、同建屋内に留まっているものと考えております。
- なお、現時点において、同建屋付近にあるサブドレン水（No. 37）の放射能濃度に有意な変動がないことを確認しています。
- 今後、漏えいした原因を調査し、適切に再発防止対策を講じてまいります。